

Discover Ibara

2021年10月9日(土)に井原市の魅力を発見する課外活動「Discover Ibara」を実施し、留学生5名と日本人学生8名の計13名が参加した。井原市は広島県福山市に隣接したまちで、歴史的に名高い武将や雪舟のゆかりの地として多くの史跡等があり、身近に芸術・文化に親しむことができる環境にある。

はじめに日本綿布株式会社を訪問し、デニム生地製作工場を見学した。染色から織布までのすべての工程を見学するなかで、伝統的な技術や最先端のマシンを目の当たりにし、さらには専門的な話の中から、普段何気なく着ているデニムについての深い知識を得るという貴重な経験をした。製品に対する興味を持ち、良い品質のものを永く大切に使うというSDGsのフィロソフィーを実感したことだろう。次に井原駅周辺を探索し、川沿いの静かな街並みを満喫した。加えて、地元の山成酒造を見学し、数種類の日本酒や酒造りに使われる窯や樽について説明を受けた。ここでは伝統の酒造りを継承するための人材の確保についての挑戦についても学び、伝統文化の継承について考えさせられた。最後に、案山子コンテスト会場に足を運び、様々な案山子と写真を撮って楽しい時間を過ごした。日本の伝統的な文化について五感をフルに使って学ぶという貴重な体験を通して、まさに井原市、もっと言えば日本の良さを実感できたことだろう。

コロナ禍で大学に行くこともままならないこの頃、きっと地域との交流を通じた学びは彼らの記憶に残っていることだろう。

